

大会報告書

「青少年のための科学の祭典」高知大会報告書

- 主催 「科学の祭典」高知大会実行委員会、(公財)日本科学技術振興財団・科学技術館
- 後援 文部科学省、高知大学、高知県教育委員会、経済産業省、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会
- 協賛 四国電力(株)高知支店
- 会場 高知大学共通教育棟 (〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1)
- 開催日時 平成28年11月27日(日) 9:30~16:00開催
- 来場者数 11月27日 1019人(子ども:554人、大人:465人)
- 実施内容
「鳴き声コップ」をはじめ、3分の1程度の出展は前大会と異なっており、毎年参加する子供にも飽きがないよう努力している。中学校理科教諭による「ぶんぶんきんぎょ」といったブースでは、遊ぶだけでなく予想を立てながら現象を確かめる体験ができるように工夫されており、理科学習との関連を図っているブースもあった。また、中高等学校の科学部が講師として参加するブース(「葉脈標本でしおりをつくる」)のほか、大学生が講師となるブース(「スーパーボールを作ろう」など)を多数用意して、子どもがより身近に科学に親しめるように工夫した。科学館のない高知県で、子どもたちに科学を体験してもらう機会を設けるため、産官学が連携してボランティアで活動をしている。
- 出展数 35出展
- 出展タイトル一覧
 - 1 低温の科学・静電気の体験
 - 2 気体の科学
 - 3 熱線カッターでオブジェを作ろう!
 - 4 ブーメランを作って戻るしくみを考えよう!
 - 5 プラスチックコップを使ってコースターを作ろう!
 - 6 雑木のオリジナルボールペンをつくろう!
 - 7 ペットボトルで空気砲をつくろう!
 - 8 木の中に何がかくれているのかな???
 - 9 バルーンロケット作り
 - 10 LEDライトで君もノーベル賞
 - 11 コンピュータで最先端のものづくり
 - 12 ペットボトルロケットを打ち上げてみよう。
 - 13 高知みらい科学館 サイエンスショー

- 14 自転車発電
- 15 まわる！まわる！クリップモーター
- 16 ビーズを使ってモーターのモデルを作ろう
- 17 キラキラ光る液晶アクセサリーを作ろう
- 18 作ろう虹色マイクロカプセル
- 19 ストロー・トロンボーンであそぼう
- 20 『風で奏でるエオリアン・ハープ』
- 21 鳴き声コップ
- 22 これでキミも名探偵
- 23 スーパーボールを作ろう
- 24 インクの花を作ろう！
- 25 浮沈子で遊ぼう
- 26 竹とんぼの ひ・み・つ
- 27 ピコピコカプセルであそぼう
- 28 ぶんぶんきんぎょ
- 29 ダジック・アース —4次元デジタル地球儀—
- 30 星座を立体的に観察しよう！
- 31 植物のタネ散布の仕組みと工作
- 32 アメンボも溺れる？！-Version6-
- 33 高知県東部に棲んでいる海の生き物・川の生物
- 34 葉脈標本でしおりをつくる
- 35 貝がらアクセサリーを作って海辺の環境を学ぼう

- 製作物
- ・実験解説集：B5版／表紙：カラー、中：一色／ページ数：53／製作部数：600冊
 - ・チラシ：A4版／表紙：カラー、裏：一色／製作部数：22,000枚

■広報活動

チラシは、11月上旬に高知市および近隣の市町村の小学校には児童全員分を送付し配布してもらった。それ以外の県内小学校と県内の中学校にはクラス数に応じて複数枚送付し、各所に掲示してもらった。高知県教育委員会、高知縣市町村教育委員会連合会、県内の後援団体にも送付して、適宜掲示してもらった。

- ・新聞：高知新聞（11月24日朝刊：広告欄に掲載）
：朝日新聞（11月28日朝刊）
- ・その他：高知大学ホームページの催し欄で紹介
：大会ホームページを7月に立ち上げ、大会前に出展題目を掲載